

# 評価概要

# 「議員活動の自己評価」

平成29年度分（平成29年4月～平成30年3月）

平成17年分の議会活動から始めた議員の自己評価は、今回で13回目となります。右表の5主要指針について具体的に取組んだ事項を3段階で自己評価したものです。

集計の結果、「取組の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は74件で49%、「△努力が必要」は67件で44%、「▲さらに努力が必要」は10件で7%となりました。

次に、「結果の評価」については、項目全体の151項目中、「○ほぼ満足」は45件で30%、「△努力が必要」は69件で46%、「▲さらに努力が必要」は37件で25%となりました。

取組の評価では「○ほぼ満足」が49%であるが、結果の評価では30%と大きく差があります。このことから、今後も各議員の取組みが今まで以上に結果として反映されるように努力する必要があります。

また、議員個人としての活動について、4名の議員から報告がありました。

□ 自己評価は次の指針により実施しています。

主要指針	評価の指針等
1. 態度評価	町民の立場で発言・行動をしているか。議会での態度（居眠り、私語など）、審議の態度（品位の保持、審議への協力）
2. 監視評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで行政執行をチェックしたか。
3. 政策提言評価	町民の意向を政策に反映させるため、行政への一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで政策提言をしたか。
4. 政策実現評価	一般質問、討論、質疑・意見交換・討議（発言）などで指摘した事項が改善されたか。また、政策提言した事項が実現したか。
5. 自治活動・議会改革取組み評価	議会報告をしているか。地域活動へ参加しているか。町づくりなどへの貢献度はどうか。町民ニーズの把握はどうか。

## ○議員別の評価集計

議員名	杉村志朗		滝川明子		川村明雄		花田 勇		木村 隆		平沼昌平	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	3	1	4	4	14	5	7	4	10	8	11	5
△ 努力が必要	8	6	7	7	5	10	6	6	0	2	4	8
▲ さらに努力が必要	0	4	0	0	0	4	0	3	0	0	0	2
計	11	11	11	11	19	19	13	13	10	10	15	15

議員名	佐藤孝男		熊野茂夫		平野隆雄		溝部幸基		合計	
	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果	取組	結果
○ ほぼ満足	8	5	11	7	4	4	2	2	74	45
△ 努力が必要	2	5	0	4	13	13	22	8	67	69
▲ さらに努力が必要	0	0	0	0	3	3	7	21	10	37
計	10	10	11	11	20	20	31	31	151	151

〔分野別の評価種類は、次のとおり省略しています。「取組」=取組の評価 「結果」=結果の評価〕

## ○議員個人としての活動

	川村明雄	花田 勇	熊野茂夫	溝部幸基
報告会等の実施	—	2	2	1
議員だよりの発行	—	—	—	—
個人ホームページの開設	○	—	—	○
その他	—	—	—	—

### ●議員活動の目標（公約）

選挙公報による公約とともに、適正な議会・議員の役割を果たすために、前年の自己評価による反省点や課題などを翌年の議会・議員活動の目標（公約）として、平成19年から公表しています。

本年度は、10名の議員で総数155項目（昨年度：10名提出 152項目）となりました。

【個人票はP31～P32に掲載しています。】

## 「議員」の評価結果（個人票）

評価の分類： ○＝「ほぼ満足」 △＝「努力が必要」 ▲＝「さらに努力が必要」

評価期間：平成29年4月～平成30年3月

### 杉村志朗 69歳

経済福祉常任委員会委員

議員歴19年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	各町内会館の存続・廃止対応	△	△
	吉岡総合センターの管理運営状況	△	▲
財政	安心して暮らせる財政の確立	△	△
経済	地元産業の支援	○	△
福祉	住民環境の充実	△	△
	高齢化に対応した葬祭費の改善	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	社会教育施設の環境見直し	△	△
	いじめのない学校運営	○	○
その他	横綱ビーチの活用促進	△	▲
	岩部地区方面（通行止）対策	○	△
	将来人口減少対策	△	▲

### 滝川明子 76歳

議会運営委員会副委員長、総務教育常任委員会委員

議員歴27年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	防災の町づくりへ推進	△	△
	男女平等参画の推進	△	△
財政	住宅リフォームの助成を	△	△
経済	若者雇用の場づくりを中心に定住対策	△	△
	B級グルメの福島ブランドを	△	△
福祉	ゆとらぎ館の改修	△	△
	利用しやすい介護保険制度の推進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	いじめを絶対に許さない対策推進	○	○
	高校存続対策	○	○
その他	議会基本条例に基づく活動の推進	○	○
	町内会を中心にボランティア活動の推進	○	○

### 川村明雄 72歳

総務教育常任委員会委員長、議会運営委員会委員

議員歴11年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	定住及び少子化対策への政策提言	○	△
	住民が誇れる魅力あるまちづくりの考察と提言	○	△
	町内の国道改良及び第二の青函トンネル構想推進	○	△
財政	ふるさと応援基金や財政調整基金の有効活用の推進	△	▲
	町総合計画と将来的安定財源の確保、推進	○	△
経済	空き家利活用の考察と提言	○	△
	起業者支援対策の推進と定住対策課題の考察	△	△
福祉	少子化対策と子育て支援対策の推進	○	○
	吉岡温泉ゆとらぎ館改修案の提言	△	▲
	医療対策の充実確保	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	福島高校存続対策の推進及び中高一貫教育の考察	○	△
	学校教員の労働過重問題への考察、検討	○	○
	町民プールの活用拡大と考察、提言	○	▲
その他	館崎縄文土器に関するまち興し対策への考察	△	△
	身近な生活環境の改善対策の推進	○	○
	南北海道駅伝競走大会の将来的堅持	○	○
	町内会を始めとする各種ボランティア活動の実践	○	△
	松前半島道路計画の推進	○	△
	原子力発電からクリーンエネルギー社会への考察	△	▲

## 花田 勇 77歳

経済福祉常任委員会副委員長、議会運営委員会委員 議員歴7年  
渡島西部広域事務組合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	地元産業の活性化に向けた推進	○	○
	小中一貫校に対する提言	△	△
	福島町の歴史・文化の活性化提言	○	○
財政	財政健全化に対する提言	△	△
	福祉分野の財源に対する努力	△	△
経済	陸上養殖アワビの増産に努力	○	▲
	福島町まちづくり工房の推進	○	△
	間引き昆布のさらなる利用推進	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢化が進む中で利用者が一番何を望むのかをよく考えて行きたい。	△	△
教育	少子化の中で小中学校がこのままで良いのかをテーマに取組みたい。	△	▲
その他	誹謗・中傷の無い町づくり	△	▲
	各種行事への参加	○	○
	町民と議員との懇談会にもっと多く町民が参加出来るように努力	○	△

## 木村 隆 38歳

総務教育常任委員会委員、監査委員 議員歴11年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	指定管理者政策の注視	○	△
	伊能忠敬公園のあり方	○	○
経済	間引昆布のさらなる活用に向けた情報収集	○	○
	外国人研修生の国の動向や調査活動	○	○
	アワビ事業の本格稼働に向けた注視	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	子育て政策（子育て住宅）への提言	○	△
	介護政策、国保広域化への提言	○	○
教育	吉岡小の在り方の方向性確認	○	○
	タブレット教育への提言	○	○
その他	消防団活動の推進（全道大会）	○	○

## 平沼昌平 63歳

議会運営委員会委員長、経済福祉常任委員会委員 議員歴13年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	雇用の場の創出に向けた提言	○	△
財政	効率的な事務事業を検証し、経費削減に対して提言する。	△	△
	後継者育成と定住化促進に向けた提言	△	△
経済	一次産業に対する施設整備の提案と経営安定化に対する提言	○	△
	町内インフラ整備の充実と保守維持体制の推進に対する提言	○	○
福祉	高齢者の生活環境の充実とサポート体制の提言	○	○
	健康な町づくりに対する保健医療環境の充実した体制づくりの提言	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
教育	少子化による学校教育の環境整備と地域環境の在り方の提言	△	▲
	社会教育の充実と施設環境の整備に対する提言	○	△
その他	松前半島高規格道路整備に向けた取組体制の提言	○	△
	有害鳥獣駆除に対する後継者育成支援体制の充実と後継者確保及び事業の広域化（4町）取組の環境整備に対する提言	○	△
	吉岡総合センターの活用と運営に対する提言	○	○
	安心安全な道路網の整備と保全体制の充実に対する提言	○	○
	漁業の新たな養殖事業や既存養殖事業の環境整備の支援体制の提言	○	△
	水産加工事業に対する支援体制と雇用体制の充実に対する提言	△	▲

## 佐藤孝男 71歳

総務教育常任委員会委員、渡島西部広域事務組合議会議員 議員歴23年  
渡島廃棄物処理広域連合議会議員

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	第5次総合計画の推進、ローリングのチェック	○	○
財政	将来を見据えた無駄のない財政健全化に取組みます。	○	○
経済	漁業・農業者（新規就業者）の確保と育成	○	△
	新たな養殖アワビ推進、養殖施設の推進、ナマコ放流の検証	○	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	介護予防医療の推進	○	○
教育	福島商業高校の存続の推進	△	△
	学校給食センターの地元産物利用の強化	○	○
	体験学習の実施、食育への取組み	○	△
その他	各種行事への積極的な参加	△	△
	町内会活動への参画	○	○

## 熊野茂夫 68歳

経済福祉常任委員会委員長、議会運営委員会委員 議員歴7年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「総合計画」の確実な推進とその検証	○	△
	各公共施設の再整備と改修への諸提言	○	△
財政	将来を見据えた予算編成への諸提言	○	○
	過去の諸施策を財政的視点により検証をします。	○	○
経済	「養殖事業」の安定と発展のための諸提言	○	△
	農林業への実効性のある諸提言	○	○

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	高齢者が利用しやすい公共施設の改修・整備への諸提言をいたします。	○	△
	国民健康保険・介護保険会計の健全な財政運営への諸提言	○	○
教育	学校教育環境の充実のため施策提言をいたします。	○	○
	社会教育への諸施策の提言をいたします。	○	○
その他	生活環境改善への提言	○	○

## 平野隆雄 69歳

副議長、広報・広聴常任委員会委員長、総務教育常任委員会委員、経済福祉常任委員会委員、渡島廃棄物処理広域連合議会議員 議員歴22年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	町基盤産業の支援・町内景気の活性化	▲	▲
	自然環境保全・汚染防止対策	△	△
	各公共施設の管理運営	△	△
	松前半島高規格道路推進	△	△
財政	福島川改修事業の推進	▲	▲
	町施設の利用促進・円滑な管理運営	△	△
経済	養殖コンブ製品増の提言	○	○
	町内起業家の育成、支援対策	○	○
	町内各産業の新たなブランド開発推進	△	△
	インターネット活用販売促進	△	△

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
経済	高齢化等における水産加工場への対応	○	○
	町内特産物のブランド化の促進	△	△
福祉	健康な町づくりの推進・医療費助成	○	○
教育	給食を通じた食育と地産地消促進	△	△
	少子化の中の教育行政の見直し	△	△
	学芸員の配置、縄文土器等による町づくり	△	△
その他	福島商業高等学校存続対策強化推進維持	△	△
	学校における相撲の推進	△	△
	吉岡温泉の円滑な管理運営	△	△
	横網ビーチの利用促進	▲	▲

## 溝部幸基 70歳

議長、総務教育・経済福祉常任委員会委員、渡島西部広域事務組合議会議長 議員歴38年

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
行政	「両基本条例」の目的達成に向けた活動推進（総合計画条例に関する提言）	△	▲
	自律、協働の「小規模多機能自治」に関する調査研修	△	▲
	「公契約条例」に関する調査研修	△	▲
	行政サービスの効率的な運営への提言（外部委託・時間差出勤・研修等）	△	▲
	防災対策の提言（災害弱者・訓練・冬季対策等：危機管理に関する研修）	△	▲
	「平和の町宣言」に関する調査研修	△	△
	浄化槽（下水道整備）の普及推進	▲	▲
財政	財政健全化への取り組み（予算決算審査・行政評価充実：基金有効活用）	△	△
	退職手当制度の抜本的改善	▲	▲
経済	新しい仕事の創出（起業）に挑戦できる支援システムの創設	△	△
	異業種連携による「福島ブランド」の開発	△	▲
	地場産品の6次産業化に関する調査研修	△	▲
	産業団体と課題に取り組む産業公社的仕組みづくりの調査研修	△	▲
福祉	地産地消、食育、環境リサイクルで「自律循環型の町づくり」の研修	△	▲
	過疎自治体における超高齢化対策に関する調査研修	△	▲
	「健康な町づくり」（全町的な取り組み）で医療費の節減	△	▲

分野	具体的な項目	評価	
		取組	結果
福祉	予防医療の推進	▲	▲
	在宅介護支援体制の整備	△	▲
教育	小中学校一貫教育、コミュニティースクールに関する調査研修	△	▲
	過疎自治体における高等教育推進に関する調査研修	▲	▲
	「子育て基本条例」制定に向けた取組み（情報収集・研修）	▲	▲
	「自分（達）ですべき事は自分（達）でする」主体性をもった自治活動の推進	△	▲
その他	食育・地産地消の推進（「食育基本計画」→情報周知・実践計画・研修）	△	▲
	わかりやすく、町民が参加出来る議会の実現（議会基本条例の周知）	△	△
	活発な討議（討論）ができる議会の実現	△	△
	政策的な提案のできる議会の実現	△	△
	町議会議員選挙への供託金制度導入	▲	▲
	幅広い情報収集、積極的な研修参加	△	△
	視察の積極的な受け入れ（鶴田町・男鹿広域・訓子府町・那須塩原市・普代村・河北町・江差町計7団体46名：1市5町村1広域）	○	○
	ホームページの充実（提案、情報発信、参加型）	△	△
各種行事、研修への積極的な参加（活動実日数266日）	○	○	